

ONE FOR ALL 横浜

横浜市戸塚区

設計・監理／内藤建築事務所
 施工／大和ハウス工業
 ONE FOR ALL YOKOHAMA
 NAITO ARCHITECTS



交差点からの外観（南西側）



上／地域交流スペース 左下／待合（産科） 右下／自然光を取り込んだ食堂（産婦人科）



オープンスペース

One For All, All For One

医療法人横浜柏堤会の法人理念である「One For All, All For One」に由来する「ONE FOR ALL横浜」は、「地域のために1つになる」という願いが込められた施設である。

本計画は戸塚区役所跡地の公募プロポーザルにて選定された。戸塚区役所移転後の、地域の賑わい、少子高齢化への対応という地域課題に対し、産婦人科、人工透析、病児保育、有料老人ホームというプログラムを提案し、地域交流スペース、オープンスペースを併設することにより、子育て世代から高齢者まで幅広い世代の生活環境の向上に貢献し、地域の賑わいの場になることを期待されている。

街の新たなシンボル

交差点に面した扇形の低層部には屋外オープンスペースを創出し、内外空間を一体的に地域交流スペースとすることで賑わいの場を演出した。上層階は対照的にエッジの効いたシャープな外観、モノトーンの配色とすることで、街の新たなシンボルとなることを目指している。

恵まれた立地環境

敷地北、東面はそれぞれ小学校の校庭と保育園に隣接しており、昼間はこどもたちの活力を感じ、夜間は静寂なため、上層階の老人ホームに入居する方にとって、メリハリのある生活環境となる。

セキュリティ

ワンフロア1,000㎡～1,500㎡程度の5層の建物に、5つの用途および共通のサービス動線がそれぞれ専用の入口を持ち、ジェンガのように重層的かつ機能的に組み込まれている。複合建物としての安全性に配慮し、産婦人科（夜間）、有料老人ホーム、病児保育はTV付きインターフォンを備え、モニター確認後に入館可能なセキュリティ計画としている。有料老人ホームのEVはまず、スタッフが常駐する4階に着床し来訪者を確認することができ、退中はスタッフから配布された開錠カードをポストに投函することで、1階の自動ドアが開くしくみとし、部外者の進入、徘徊者の外出を防いでいる。



河崎 邦生……かわさき くにお
 1961年富山県生まれ。1983年金沢大学工学部建設工学科卒業、同年エース入社、1988年内藤建築事務所入社。現在、同社執行役員企画部長



北野 雅士……きたの まさし
 1979年兵庫県生まれ。2000年明石工業高等専門学校建築学科卒業、2005年豊橋技術科学大学大学院建設工学専攻卒業、同年内藤建築事務所入社

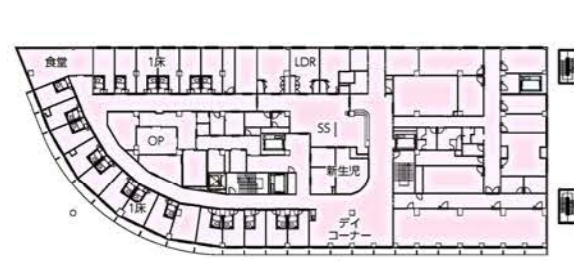


矢口 ゆかり……やぐち ゆかり
 1968年神奈川県生まれ。1990年ICSカレッジオブアーツ卒業、1995年伊藤喜三郎建築研究所入社、2010年up arrowとして活動。現在、主に医療福祉建築のインテリアデザインに携わる

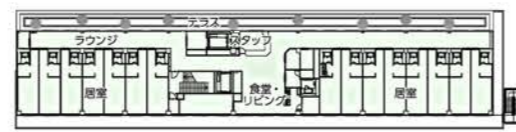


受付(産婦人科)

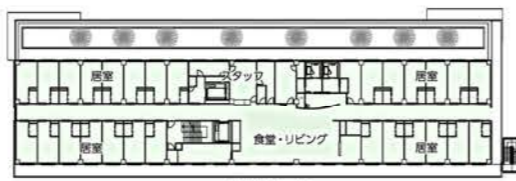
- 凡例
- 共用部
 - 厨房(共用部)
 - 地域交流
 - 産婦人科
 - 有料老人ホーム
 - 病児保育
 - 透析



2階平面図



5階平面図



4階平面図



3階平面図



1階平面図 縮尺1/1,000

テイクコーナーに近接した新生児室(産科)



南側1床室(産婦人科)



スタッフステーション(老人ホーム)



ONE FOR ALL 横浜 地域交流施設 地域交流スペースは近隣住民が気軽に立ち寄れる「ブックカフェスタイル」を採用し、学びの場としてアカデミックなイメージとした。

戸塚共立レディースクリニック 1階の産婦人科外来は、受付にて産科、婦人科の動線を振り分けた。2階は夜間のスタッフ体制にも配慮し、中央部に手術室、分娩室、スタッフステーション等を機能的に集約し、LDRを近接させている。

インテリアは上質で落ち着いた空間を目指し、女性に向けたエステやサロンの思わせるヨーロッパ・テイストのデザインとした。

戸塚共立透析クリニック 快適な透析環境を目指し、寒冷に敏感な透析患者が気流を感じないように輻射熱空調を採用した。照明計画においては眩しさを感じさせないように、グレアを抑えたやわらかい光のLEDベースライト(調光式)と処置灯を最適な位置に配置した。

戸塚共立ひかり病児保育室 型別のインフルエンザ、おたふくかぜ、麻疹等、複数の感染症に対応するため、間仕切り可能な大きめの保育室、安静室3室、観察室を備え、感染を防ぎながら多様な病児を受け入れ可能な仕つらえとした。

戸塚共立ゆかりの里 有料老人ホームのスタッフステーションは、食堂リビングに面したフロア中央部に位置し、ローカウンターとすることで、見守りやすい計画とした。特別室を5階に集約し、廊下はラウンジと位置づけ、傾斜天井により「落ち着いた縁側空間」を演出している。

(北野雅士/内藤建築事務所)



食堂・リビング(老人ホーム)*



落ち着いた縁側空間

ONE FOR ALL 横浜 データ

所在地 横浜市戸塚区戸塚町157-3
 主要用途 診療所、老人ホーム
 建築主 医療法人 横浜柏堤会
 設計・監理 内藤建築事務所
 総括:河崎邦生 建築:北野雅士
 構造:松岡利久 設備:雨宮 潤
 インテリア up arrow 矢口ゆかり
 施工 大和ハウス工業 野島慎二、齋藤 敦、酒藤寿博
 設計期間 2015年3月~2015年12月
 工事期間 2016年1月~2016年12月
【建築概要】
 敷地面積 3,184.40㎡
 建築面積 1,902.95㎡
 延床面積 6,504.35㎡(容積6,058.04㎡)
 建ぺい率 59.75%(許容60%)
 容積率 190.24%(許容200%)
 構造規模 S造 地上5階、塔屋1階
 最高高さ 17.85m
 軒高 17.27m
 駐車台数 33台
 地域地区 第一種住居地域、第四種高度地区

【病棟概要】

想定外来患者数 80人/日
 診療科目 全2科 産婦人科、透析
 病床数 全19床(産婦人科) 1床19室
 1床当延床面積 127.63㎡
 老人ホーム 52床
【設備概要】
 電気設備 受電方式/高圧受電方式6.6kV1回線受電
 変圧器容量/油入変圧器1,100kVA 予備電源/非常用発電機200kVA×1台
 空調設備 空調方式/空冷ヒートポンプマルチエアコン方式 熱源/電気
 衛生設備 給水/屋外受水槽36㎡(ポンプ室付)、加圧給水ポンプによる加圧給水方式 給湯/中央式(ガス湯沸器)、局所式(電気温水器) 排水/屋内汚水雑排水合流方式
 防災設備 消火/スプリンクラー設備、補助放水栓設備、連結送水管設備、フード消火、消火器 排煙/自然排煙
 その他/自動火災報知設備、非常放送、誘導灯、非常用照明、避雷設備
 昇降機 養台用×4基、乗用×1基、小荷物専用昇降機×1基
 特殊設備 透析排水処理設備、医療ガス設備、ナースコール設備

※印以外撮影/近代建築社(根本健太郎)